

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	プロフェッショナル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.539	△RG	0.048	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

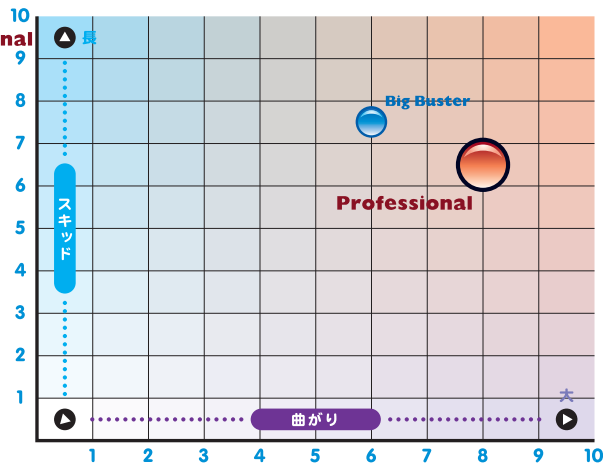
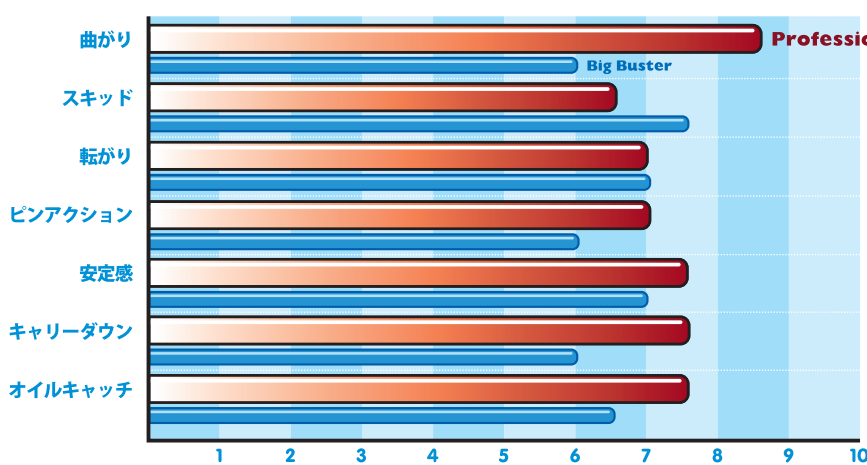
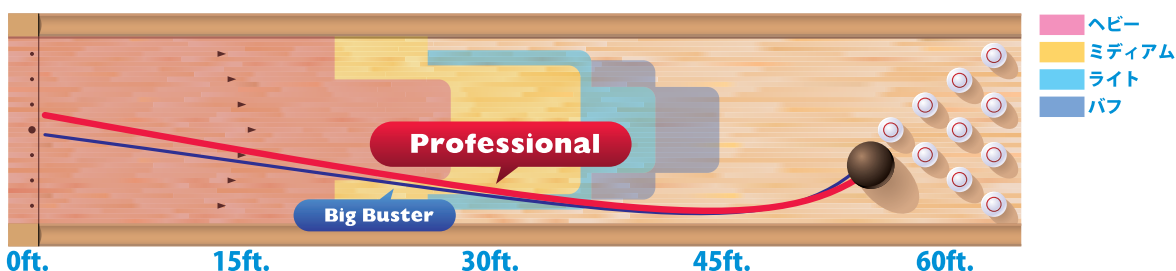
比較対象ボール：ビックバスター

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

コア形状は不明だが、M-80 カバーストックなのでビックバスターとの比較を行った。パーティクル配合の変更かビックバスターのM-80 カバーストックとは比較にならないほどオイルキャッチが強くなっており、薄いオイルには反応を示し、右へ曲がろうとするイメージがある。曲がり幅的には非常に大きく、オイルを長く使うことによりインパクトのあるシャープなりアクションを得られます。ビックバスターにみられたミッド・エリアでのコントロール性能は継承されており、非常に扱いやすく曲がりを得ることができる設定になっているようです。オイルキャッチが強くなっているため、転がり感はビック・バスターと同じように転がるがスキッドレベルでは短く感じ、手前のオイルがしっかりしたコンディションでないとシャープ感も得られず、全体的にボケたイメージのボールに感じることでしょう。オイル上の安定感に優れており、キャリーダウンに強いことからオイリー向けの位置づけで使用できるでしょう。クリス・バーンズモデルとしての設定にはキャッチ力が強く、シャープ感が強いいため、クリスの高回転で使用できるのかどうか疑問になるほどパフォーマンスは素晴らしいです。ピンアクションに対してもM-80のやや硬いピンアクションは見直されており、柔らかく低くとびます。曲がりが少ないボウラーでも曲がりがでやすく、曲げられるボウラーでも手前のオイルをしっかり使えば、このボールのパフォーマンスは十分発揮できるでしょう。

特記事項

曲がりの中にもミッド・エリアでのコントロール性能を保ち、オイル上での安定感は非常に高いです。使用して頂ければ、このボールの良さは解っていただける、そんなボールです。